



とよおか

第 60 号

平成25年1月20日

議会だより

発行/長野県豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷㈱



平成25年のスタート

とよおかニューイヤーマラソン

12月定例会



議長年頭あいさつ	1
12月定例会のようす	2
予算特別委員会の質疑から	3～4
一般質問	5～11
議員の意志表示一覧表	11
委員会だより・国内視察研修報告	12～14
みんなの声・私がんばっています	15



この議会だよりは、再生紙を使用しています

賀 春



年頭のごあいさつ

村議会議長 下 平 豊 久



新年明けましておめでとございます。

村民の皆様方には、すがすがしい新春を迎えられたこととお喜びを申しあげます。

昨年を振り返りますと、一昨年の3・11東日本大震災とそれに伴う福島第一原発事故という、まさに国難とも言える大震災の復興に全力で取り組みつつ、一昨年来の円高による経済不況は、ヨーロッパでの金融危機が追い打ちをかけ、深刻な雇用不安と生活破壊がさらに進行して来ております。

期待を抱いた民主党による政権交代は、国民の期待を裏切り、災害復興・原発被害復興対策の遅れ、深刻な円高と経済不況に有効な対策がとれず、国防・外交政策においても後れを取り有効な対策が取れないばかりか、大飯原発の再稼働・TP

Pへの参加表明や沖縄へのオスプレイの配置容認や基地の押し付け強要は国民の期待を裏切つて来ました。

こうした状況下での総選挙は、民主党が劇的な敗北を期し、自民党が大勝する結果となりました。

内政・外交とも課題が山積みの状況の下、国民の要望と地域にしっかりと根を張った有効な施策を実行されることを期待したいと存じます。

こうした中で、三遠南信自動車道やリニア新幹線の環境アセス調査等の前進は、南信州地域の将来に大きなインパクトを与えております。地域の振興施策や飯田線の利便性の向上と、リニア飯田駅の設置に向けた取り組みの強化を求められています。

私ども議会は、議会改革検討委員会やリニ

ア特別委員会を設置し、議会活動と議会の活性化と改革に取り組んで参りました。

今年、豊丘村第5次総合振興計画が始まります。村民皆様の要望にしっかりと答えるため、横浜、ゴムの企業進出への対応、社会教育施設の建設、天竜川架橋の実現、人口増や社会福祉の向上、安心安全な村づくり等々、厳しい状況下で山積する諸課題に取り組んで参りたいと存じます。

今後とも議会への変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、また、村民の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ新年のごあいさつと致します。



平成24年第4回定例会

平成24年第4回定例会は、12月4日から18日までの15日間の会期で行われた。

今定例会では、専決処分承認案1件、条例案2件、補正予算案5件、陳情1件、発議3件、その他1件が上程された。

下水道使用料徴収条例の改定では、修正動議が提出され可決された。

他の議案、発議、陳情は可決、採択がなされた。

一般会計補正予算

補正額5199万円

対策の一つである。

で、予算総額は38億9200万円余となる。

又、債務負担行為として限度額1億円が追加された。これは、国の社会資本整備総合交付金事業によって、賃貸住宅の整備を行う予定（平成25年度）であるが、そのための測量設計に本年度中にとりかかるものである。26年4月操業を目指す横浜ゴム従業員用の住宅

◎横浜ゴム工場用地整備
備：3120万円

用地内（八王子）の中央部分にある排水路の付替工事を村が実施するものである。なお、用地の造成工事は会社の負担で行う。

◎住宅団地造成事業
（用地購入費）：1839万円

村の土地開発公社が



横浜ゴムの進出予定地（八王子）

所有している八王子地区の旧ミヤマプロイラー跡地（2352㎡）を

村が取得するものである。新年度において、

横浜ゴム従業員の住宅対策として活用しようとするものであるが、

住宅の建設は民間業者とする方針である。

とする方針である。

◎太陽光発電設置事業
：240万円

8戸分を追加する。

昨年度までの設置戸数と今年度分との合計で149戸の補助金を交付している。

林里の下水道処理場で9月19日、汚泥流出事故が発生した。このような事故の発生防止のため、沈殿槽内に超音波発信器を設置し、汚泥界面の上昇をチェックし汚泥の河川への流出を未然に防止するためのものである。

下水道特別会計

◎「汚泥界面計」設置事業
業：650万円

林里の下水道処理場で9月19日、汚泥流出事故が発生した。このような事故の発生防止のため、沈殿槽内に超音波発信器を設置し、汚泥界面の上昇をチェックし汚泥の河川への流出を未然に防止するためのものである。

◎下水道使用料徴収条例の改定

開会日に提出された改定案は、消費税を料金内に含むいわゆる「内税」方式としていたものを、料金とは別に消費税を上乗せして徴収する「外税」方式に改定するものである。これによって、「村民の負担は5%（実際は10円未満切り捨てのため4・85%程度）増えることになる。

しかし、条文の解釈に疑義を招く恐れがあることから、最終日に議員から修正動議が提出され、全会一致で可決された。

◎議会議規則の改正
豊丘村議会では、これまで予算、決算の審査はそれぞれ予算特別委員会及び決算特別委員会を設置して行ってきたが、この特別委員会を「常任委員会」に改定するものである。

これによって、総務産建常任委員会、社会文教常任委員会と合わせて、4常任委員会制となる。



会の質疑から

各種の予算措置が

債務負担行為1億円の内容は

〓横浜ゴム(株)関連の住宅整備に〓

唐澤議員 新たに債務負担行為として1億円を設定したが、事業内容は。

総務課長 ㈱横浜ゴム平塚東工場が豊丘村八王子地籍移転することになり、従業員向けの住宅整備の費用、来年12月末までには完成を要するため、今年度に補助金を受け測量設計等の委託契約を行う。

豊丘村に移住する従業員数は、現在では決まっていないが、約50人を想定している。このため、民間会社を含め約50戸の住宅が必要と考えている。この債務負担行為では、戸建て賃貸住宅として河野地籍に1カ所・神稲の大柏地籍に4戸分を予定している。

又、八王子の村有地(ブローラー跡地)は、

横浜ゴムの社員住宅専用として民間会社に建設してもらい、管理運営までやってもらうことを考えている。

唐澤議員 今年度は測量・設計事業であれば補正予算での対応と考えるが。

総務課長 現時点では測量設計以外の具体的事業内容が決まっていないが、事業規模も多く工期も短いため債務負担行為の設定とした。

住宅団地候補の状況は

〓来年1月中旬にまとめる〓

片桐秀人議員 各区に住宅団地の候補地をあげてもらっているが、その状況と、今後の予定はどうか。

総務課長 来年の1月末までには決定したい。

なお、建築方式としては、県の住宅供給公社に測量設計から建設までを行ってもらい、完成後に村が買い取ることを考えている。

用語解説

「債務負担行為」とは後年度にわたる債務を負担することで、議会の議決を要す。例えば、契約を結び仕事は行ってもらうが、代金の支払いは後年度に予算を組んで執行するということも。

民間も住宅計画あり飽和では

〓必要数50戸なので心配ない〓

吉川議員 林里の農協本所跡地は、神稲建設が8戸の住宅建設をするとのことだが、住宅がだぶつくことはないか。

総務課長 官民合わせて約50戸の必要数なので、その心配はしていない。

松下議員 職員の超過勤務手当の支給基準は。

総務課長 8時間までは代休。8時間〜24時間までは超過勤務手当、24時間以上は代休としている。

片桐義憲議員 地方公務員公務災害補償基金の負担金追加理由は。総務課長 東日本大地震で、消防団員が多数犠牲になったため不足する。この分を全国規模で補うもの。



解体され更地となった旧JAとよおか支所跡地

予算特別委員

横浜ゴム(株)の誘致で



村内で設置が増えつつある太陽光発電

太陽光発電の補助累計は

〓 補助実績は149件 〓

大原 太陽光発電設置の補助金制度の内容は、環境課長 1キロワット当たり5万円・上限は30万円。今年度は30件の申し込みあり、不足分240万円を補正する。

補助金支給のこれまでの累計は149件となる。片桐義憲議員 管理不足による市田柿の伐採状況は、産業建設課長 当初見込みは500〜600

本であったが、実際は大きく上回る2200本の希望があった。このため不足額2026千円を追加する。なお現在までに約半数の伐採を終えている。松下議員 青年就農給付金の減額理由は、産業建設課長 国の予算枠が減額され、当初3人を予定していたが実際は1人のみで、かつ半額に減額されてしまふ。



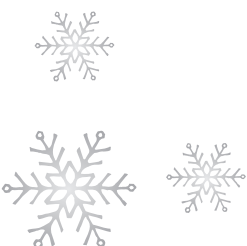
老朽化が進む給食センター

横浜、ゴム株内排水路の費用負担は

〓 誘致条件から村が負担 〓

唐澤議員 株横浜ゴム工場敷地内の排水路付け替え工事費3000万円は、設計額なのか。又、村で負担することについての相手方との話し合いの結果なのか。産業建設課長 工場敷地の地盤高が未定のためこの事業費は概算額。又、費用負担について、誘致した村負担とすることになっている。片桐秀人議員 この他の村負担はどうなっているか。産業建設課長 上下水道の敷設費用3500万円がある。酒井議員 給食センターが老朽化して補修

費等が必要。今後の改築計画は考えているか。教委事務局長 社会教育施設の建設が終了してからになる。喬木村では2億円かけたが、補助制度がなくなってきた。研究していきたい。



質問



質問 リニア開通に向けての課題は

答 不安を払拭する努力をする

川野孝子

質問 リニア開通に村長からは夢が語られている。しかし村民の中には予想される問題点、地下水の枯渇、騒音、電磁波の問題、日影等不安を感じている人も多い。村民と話し合う場がないという声についてどう考えるか。

こがれ、日本のふるさととの原風景が求められていると思う。

質問 市田駅の無人化が突然JRから高森町に通告されている。豊丘村にとっても村民の公共交通の大切な手段である。村長として市田駅の無人化をどう

思っているか。

村長 広域で対応するのは難しいと思う。それぞれの関係町村で駅を守っていかななくてはと思う。高森町と月に1回は一緒に色々な話し合いをしているので前向きな対応をしたい。

村長 「村長としゃべらまい会」でも意見は聞いている。今後は村民の不安を払拭するためJR東海、県等と一緒に話したい。

を待って考えていきたい。

質問 リニア開通後都市部の人たちがこの南信州に何を望んでいるのか考えたことがあるか。

村長 自然に対するあ



視察を行った本長篠の駅の様子

議会活動報告

10月12日

◎ 10月

- 1日 議会、たより編集委員会
- 3日～4日 町村監査委員全国研修
- 3日～5日 社会文教委員会視察（東北）
- 9日～10日 長野県議長会役員研修
- 9日 議会、たより編集委員会
- 10日 例月監査・定期監査
- 11日 議会、たより編集委員会
- 12日 総務産建委員会
- 15日～16日 総務産建委員会視察（静岡・三重）
- 17日 神奈川県愛川町視察
- 22日 飯伊市町村議会議員研修
- 23日 社会文教委員会
- 24日 広域連合全員協議会
- 24日 郡町村監査委員研修
- 24日 長野県議長会定期総会
- 25日 北部ブロック議員総会
- 26日 長野県議長会総会
- 26日 中学生模擬議会
- 29日～30日 全国広報研修会
- 31日 議会運営委員会

臨時議会

全員協議会

北部総合事務組合議会

◎ 11月

- 1日 租税協総会
- 2日 広域連合運営委員会
- 2日 監査委員ブロック研修



質 奨学金の増額は

答 当初予算で反映したい

片 桐 秀 人

質問 過日中学生による模擬議会が開かれたが、その中で奨学金制度についての質問と提案があったが、これが実現するよう再確認の意味で質問を行う。

貸付金の額の引き上げについて、現在は高校で月1万円だが引き上げるつもりはあるか。

村長 来年度当初予算に反映したい。金額については編成時に決めたい。

質問 帰村優遇制度の創設についてはどうか。

村長 今後検討を行いたい。

質問 この夏村内で河川管理作業中草刈機による事故が発生したが、管理を行っている一級河川はいくつあるか、管理はどうか。

産業建設課長 一級河川は11、準用河川は19ある。管理は関係する区にお願いしている。

一級河川の管理は県で、護岸補強堆積土倒木除去は県に要請している。

質問 県からの管理費はいくら来ているか。

課長 河川愛護と言う

名目で28万3千円来ており、村で15万3千円上乗せしている。

質問 増額を要望すべきではないか。

課長 河川愛護の観点ではあるが町村会等で増額要望の声がある。

村長 同様である。



村への思いを感じた中学生輝丘議会



18日	17日	13日	12日	11日	10日	7日	6日	5日	4日	3日	◎ 12月	30日	29日	28日	27日	22日	19日	14日	13日	12日	7日
第4回定例会再開 全員協議会	総務産建委員会 議会運営委員会	一般質問	例月監査・定期監査	全員協議会	予算特別委員会	長野県議長会役員会	総務産建委員会	議会だより編集委員会	第4回定例会開会 全員協議会	竜水園連絡協議会	行政懇談会	北部総合事務組合議会 広域連合議会	商工問題懇談会	議会運営委員会	社会文教委員会	総務産建委員会	広域連合視察(青森)	町村議会議長会全国大会	例月監査・定期監査	国保運協委員研修	県知事・県議会議長会要望活動





無人化が心配される市田駅

質 リニア対策室の活動内容は

答 関係機関と協力して情報収集を

吉 川 明 博

質問 リニア対策室の活動内容は。

総務課長 課題等の情報収集を広域連合、長野県、JR東海と連絡調整している。

質問 リニア中央新幹線が本村を通過するメリット、デメリットは。

村長 メリットは固定資産税収入で、あとは全部デメリット。
質問 村民が山梨県のリニアの工事現場を見学したいとの、要望があったら受けるか。
村長 JR東海がやることと思うが、村として一緒になつて解決することも考えたい。

聞報道で知った(説明は無い)。

質問 市田駅の利用実態調査、無人化の意見調査、募集を提案する。
村長 ご提案の意向調査を実施したとしても、結果は「反対」になるだろう。村として無人化は、反対であり突然のJRの提案に驚いている。近隣町村と連携し市田駅無人化に対応する。

要望 リニア新幹線工事に企業が動き出している。早期に村の姿勢を示すよう要望する。

質問 JR東海から飯田線の駅無人化について村に説明があったか。

総務課長 新

質 リニア中央新幹線対策の現状は

答 JRと協議しながら連絡調整する

酒 井 浩 文

質問 来るルート発表後の対応策は。

村長 JRの準備書の発表を待ちJRと協議しながら、住民の皆さんとの対話・協議の機会を持つ。

質問 リニア対策室の現状と、リニア計画の進捗状況は。

総務課長 24年1月に総務課内にリニア対策室を設置した。現在は環境アセスに関連する資料の提供や「飯伊連

絡調整会議」で情報交換を行っている。

JRの情報は新聞報道以外の提供はない。環境アセス途中のため、公表を差し控えてほしいという要望である。

質問 住民へのリニア計画の情報公開方法は。

総務課長 JRと住民との中間に立つての連絡調整がベターな立場と考える。飯伊広域圏の視点で進めていく。

質問 リニアルート周辺の土地利用等、地域ビジョンの作成は。

総務課長 第5次総合振興計画でも検討・研究している。土地利用計画の中でリニアに関する部分の方向性を示していきたい。

里山整備事業と木育の推進を

質問 村内の荒廃した里山をどう見るか。

村長 間伐等の整備が進んでない現状ではあるが、小規模竹林整備事業は効果を上げている。森林所有者の意識の高揚を図りたい。

質問 農林・教育連携の里山整備事業と木育の推進を。

産建課長 6次産業化事業とも絡め、新たな事業を模索したい。子どもの頃から木に親しむ事業も考えたい。

教育長 現在学校教育を中心に熱心な木育が行われている。本村の特色ある教育として推進したい。



村の未来予想図は

質 豊丘の小中連携教育は

答 豊丘でも連携はしている

大 原 千 賀 子



凍結に悩まされる中学通学路

質問 社会文教委員会で、秋田県湯沢市の小中連携一貫教育を見て、思春期の不安定な時期を乗り越えるために、小中学校の先生や生徒同士が連携をとることが重要であると言われた。豊丘での小中連携教育はどうか。6年生が中学生になる時

不安や心配で「中1ギャップ」になると言うが、それを少しでも解消するために、どんな対策を採っているか。
教育長 豊丘3校では9年間の教育課程を組み立て、合同研究授業情報交換、不安解消に体験入学や文化祭等の行事で子供同士の交流

を行っている。PTAも3校研究会活動も一緒にし、これらを含め10項目の連携をとっている。
「中1ギャップ」解消に10項目を中心に体験授業や中学生

が校歌を教えたり、交流の機会を作りスムーズに中学生になれるよう努力している。
通学路の点検は
質問 中学生の輝丘議会でも通学路の危険箇所提案があり、安心安全の通学路の点検がされたか。
産建課長 8月に警察・教育委員会等と点検しそれぞれの機関に対策を依頼している。
質問 児童生徒の「ヒヤリハット」体験を聞いたリマップにしてはどうか。
教育長 児童生徒の声は日記、生活記録等でキャッチし、常に通学路の様子を聞きとりしている。安全指導、点検も毎月行っている。

質 村民グラウンド駐車場の増設を

答 今後、研究・検討したい

原 健 治

質問 村民グラウンド、村民体育館、テニスコートの利用状況は。
教委事務局長 4月から8ヶ月間の延人数で、村民グラウンド7千8百人、体育館1万7千人、テニスコート6千人。

土砂災害特別警戒区域の対応は

質問 使いたい人にとっては近くに止めたのが心理。村内外の人に利用してもらうために大型バスの待避場所を含めて駐車場の増設を。
村長 駐車場が満杯になる時がある。また、大型バスの転回する場所がないことは感じている。増設場所については研究の中で、検討していきたい。



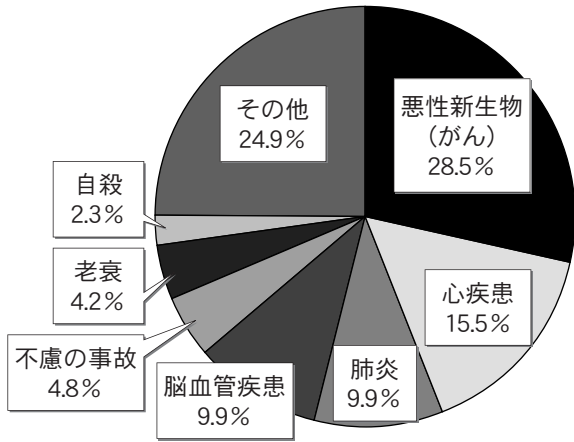
倒壊不安のブロック積

質問 土砂が崩れてくる一番危険な恐れのある場所に対する対応は。
産業建設課長 崩落対策のハード事業で地蔵道、北市場一、林里、壬生沢で実施している。
村長 村民の生命を守る

のために諸策の推進をしてみたい。
天竜川架橋は今までにない動きが
質問 架橋実現に向けての活動は。
村長 県が航空写真を撮り、現在設計が進められており、県も前向きに動いている。

高齢者の死亡率が高い病気

主な死因別死亡数の割合（平成23年）
（厚生労働省の調査から）



介護保険の住宅改修に受領委任払いを

質問 自己負担の1割のみを支払う受領委任払いを導入している町村も増えている。村ではどう考えるか。

村長 村では国の制度に従い償還払い制度を維持していく。

質 高齢者の肺炎球菌ワクチンの助成は

答 インフルエンザワクチンに重点をおく

片 桐 眞理子

質問 学校におけるがん教育は、対がん協会作成のDVDを活用し、義務教育の時代にもがん検診や予防の大切さを教える事が、がん対策の啓発につながると思うが。

教育長 無償であれば活用をしたい。小中学

校共に、養護教諭が健康教育も行っている。

質問 高齢化が進むにつれ肺炎にかかる率も高くなる。肺炎球菌が原因の肺炎にはワクチンでの予防が可能である。5年間の持続効果があるが、接種料金が高額のため公費助成を

する自治体がふえてきている。近隣でも松川町、高森町が導入している。助成についての考えは。

村長 死亡原因としては比較的少ないので、村としては感染力の強いインフルエンザを中心に高齢者の健康を守っていく。

質 うつ病対策に栄養療法を

答 研究段階であり取り組んでない

前 沢 光 昭

質問 うつ病は現代社会の深刻な問題。いまではそううつを含めた失調症は60人に1人。国でも県でも重要視して対策をとっている。不景気でリストラなどされたり様々な理由で

としては講習会を開いたりして、村内の企業からの担当者の参加があった。あとは保健所の相談コーナーなど。状況をつかみやすい

のは職場ということでは職場での対応も求められる。栄養療法は研究段階であり行政では取り組んでない。

出口のない状況の人が多い。仕事や環境で移転、昇進、やりとげ感からくるとも言われている。脳内分泌液がうまく出なくなることから外傷のあるケガと同様である。最悪の場合、自ら死を選んでしまう。年間自殺者は3万人を超え、これは交通事故者を大きく上回る。企業や、関連病院、行政で連携して対策をとれないか。

住民課長 病気の性質上把握できない。行政



健康増進に多品目の食材を

質 介護予防事業に内容の追加を

答 積極的に取り組む

井 原 康 明

質問 現在取り組んでいる新規介護予防事業の地域ミニツアーなどで、家族に介護の必要が生じた場合に少しでも役に立つ様に、介護の豆知識や手法の指導を取り入れたらどうか。

アワダチ草の繁殖が村内にも多くみられる。この雑草は、繁殖力が強く、耕地に繁殖すると厄介で、枯れると景観上も好ましくない為、有害雑草の位置づけ、早めの駆除ができないか。

は特に位置づけはしていないが、外来植物の為、今後も正確な情報を発信する事が必要と考える。
要望 できるだけ情報を流して頂き、住民の方々の協力を頂き駆除できるよう行政からの指導をお願いしたい。

村民課長 家族や、地域の中での支え合いにおいても必要な内容だと考えている。参加者の希望など聞く中で簡単な介護方法や心構えなど介護事業の中で積極的に取り組んでいく。村長 「一家に一人のヘルパーを」の考えで、地域で介護方法の講習会を企画していく必要があり、住民の皆さんの認識を高め、定着していくよう取り組む。



耕地に迫るセイタカアワダチ草

質問 平成25年度は、本村にとって第5次総合振興計画の初年度であり、社会教育施設の建設等大型事業が計画されている。
新年度の行財政運営の基本方針はどうか。
又、住宅リフォーム事業は継続すべきと考えるが。

村長 第5次総合振興計画の初年度でもあり、輝く新しい未来の豊丘村を創造していくために、1点目に社会教育施設の建設、2点目に横浜ゴムの進出を契機とする定住対策、3点目に小規模特養の建設、4点目に北部共同火葬場の建設を実施していきたい。
国の補助事業や基金を活用して財源を確保していくが、限られた財源を有効に活用して積極的な予算編成をしていく。

唐 澤 啓 六

質 新年度の行財政運営の基本方針は

答 財源を有効活用した予算編成にする

359日開設し、多くの親子が利用している。本村でも取り組む必要があると考えている。村長 そのような施設を造ろうと考えている。しっかりと研究し、子育て中の親から頼りにされる環境を作りたい。

子育て支援の取り組み強化を

質問 子育てに悩む親が増えている。いつでも気楽に集まって話し合える場所、相談できる専門家がいない場所が必要ではないか。
高森町ではこうした施設を年間



改築待たれる福祉センター

質 住民参加行政の促進は

答 自治会へ健康推進委員を委嘱

松 下 亨

質問 住民参加をいっ
そう進めるため、次の
4項目を質問する。
①自治会単位の村政懇
談会を、村の呼びかけ
で年に1回の開催は。
②自治会長会を、予算
成立時と決算終了後の
2回、新たに実施しな
いか。

検討する。ひとつの提
案として考える。
住民課長 ③について
は、25年度に配置がで
きるよう予算化する。
④今年度に補助回数を
年3回から12回に大幅
改善を図ったため、当
面は現行を考えている。

どの小中学生が食べて
いるなど成果は上がっ
ている。今後も、全村
運動とするためパンフ
レット作成や、テレビ
のCM大賞に応募した
作品を放映するなど積
極的に取組みたい。

③各自治会からの健康
推進委員の委嘱につい
て、進捗状況は。

生活リズム改
善運動の成果
は

④介護予防事業「おい
でなんしょ会」の補助
金等の増額は。

質問 他に先
駆けてこの事
業を始めたが、

村長 ①現在は「村長
としゃべらまい会」を
やっている。近隣の先
進事例で成果が出てい
れば取り入れる必要は
あるので、研究を重ね
たい。

現在の成果と
今後の取り組
みは。

②現行のやり方だけで
は不十分なので、今後

教育長 就寝
時間は、小学
生では10時ま
でが90%以上
となっている。
朝食もほとん



盛況な、村長としゃべらまい会

議員の意志表示一覧表

〈平成24年10月 第5回臨時会〉

件名	審議結果	酒井浩文	吉川明博	松下亨	井原康明	大原千賀子	片桐義憲	原健治	松村正三	片桐眞理子	川野孝子	片桐秀人	前沢光昭	唐澤啓六
平成24年度補正予算 豊丘村一般会計補正予算第3号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〈平成24年12月 第4回定例会〉

○……賛成 ▼……反対

条 例	村税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村下水道使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○
	豊丘村下水道使用料徴収条例の一部を改正する条例に対する修正案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度補正予算	豊丘村議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村一般会計補正予算第4号(専決処分)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村一般会計補正予算第5号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村後期高齢者医療特別会計補正予算第2号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村介護保険特別会計補正予算第2号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	豊丘村簡易水道特別会計補正予算第2号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	豊丘村下水道事業特別会計補正予算第3号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第5次豊丘村総合振興計画(基本構想)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳 情	安心できる介護保険制度の実現を求める陳情	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発 議	豊丘村議会会議規則の一部を改正する規則の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	安心できる介護保険制度の実現を求める意見書の提出	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

社会 文教

委員会だより

安心の介護保険制度の 実現を求める陳情

社会文教委員長 川野孝子

12月6日、社会文教委員会を開きこの陳情書について慎重審議を行い、全員一致で採択とした。

陳情の趣旨について、平成24年4月1日から3年間の第5期介護保険事業計画がスタートしている。65歳以上の1号被保険者の介護保険料が県内の平均月額4920円となり、豊丘村では基準額が第4期4250円を950円アップの5200円となっている。この金額は県内の高い方から6番目と言われている。高齢者には重い負担増になっている。同時に行われた介護報酬改定では、ヘルパーの生活援助の時間区分も時

間短縮となりサービス低下やヘルパー収入減等の問題が生じてきている。

又、デイサービスは7時間以下の事業所には12%近い介護報酬引き下げとなり、多くの事業所ではやむなく7時間以上に延長して対応しているが、利用者からは帰りの時間も遅くなり体にも負担がかかる等の苦情も出てきている。

介護現場は過酷な勤務状況、低賃金からくる離職率は20%を超えるとも言われている。介護労働者の平均賃金は21万4千円で全産業平均32万3千円と比べても低い状況にある。こうした様々な状況

の中、介護施設職員の大増員と処遇改善を国に求める趣旨となっている。

委員会としては陳情書を採択とし国に対して意見書の提出も行った。

6日に開かれた委員会の中でこの他の事業として「河野児童クラブを含めたJA河野支店周辺の再開発について」の計画素案が報告された。

この計画の主な趣旨としては、JAみなみ信州としてはグループホームあぐり河野の建替えを検討しており、旧河野支所の取り壊しをしたいが現在2階に於て河野児童クラ

ブを村がJAと賃貸契約を結び行っている。JAとして平成25年度中に旧支店周辺の旧倉庫、旧米倉庫等の取り壊しをしたいとしている。河野児童クラブを敷地内に村の方で建設

してもらい完成後、旧JA河野支所の取り壊しをしたいとしている事から、今後村としても早急に河野児童クラブの建設についての取り組みが求められる。



取り壊しが予定されている旧JA河野支所

総務 産建

所管事業、順調な進捗

総務産建委員長 松村正三

年新たに於いて、平穩無事、そして少しでも輝きと躍動の兆しに見える年であつてほしいと、願わずにはられない。

した。

さて、24年度も残すところ3ヶ月、当総務産建委員会の所管する事業も、各課ともに順調な進捗状況にある。

環境課所管では、簡易水道、長沢掘越水道の本管及び給水管布設替え工事、下水道農集排河野の機能強化事業等、今年度分については順調に進められている。

総務課所管では、行政防災無線デジタル化事業（緑越事業）、気象観測点及びデータシステムの構築。

産業建設課所管では申請に伴う道路改良・修繕工事及び用・排水路の改修なども順調。

又、今年度、農商工連携による六次産業化へ向けての新たな取り組みも第一歩を踏み出

委員会では、年明け早々から、土木申請ヶ所の見立てをはじめ、補正による追加事業と、来年度当初予算に係わる事業内容等についてしっかりと議論をし、決定をはかり、次を開くべき委員会活動としての厳しい取り組みを続けて行きたい。



高速交通網時代に戦略的対応を 農業の6次産業化も不可欠 ～静岡県・三重県へ国内視察～

昨年10月15日、16日の2日間にわたり、総務産建委員会の視察研修を行った。

参加者は下平議長を含む委員7名に片桐産建課長の8名。初日は、工事延伸が図られる三遠南信道浜松側。その進捗状況と、全線開通を見据えた、今後の村の戦略的行政対応へ熱い思いを込めて。

2日目は、体験型農業と、巾広く販売ネットワークを構築し、農業の6次産業化を見事に達成し、かつ未来に挑戦し続ける三重県伊賀市の株式会社モクモクファームの生い立ちと、その理念。以下報告する。

全開通見据え 今からの種まきが重要

総務産建委員 片桐義憲

国道151号線を南下東栄町の道の駅で、国交省中部地方整備局浜松河川国道事務所の全体説明を受けた後、未完成区である鳳来峽ICから佐久間IC間14キロの工事現場を視察。狭隘な地形のそのほとんどをトンネルと橋梁で結ぶ、典型的な山岳道路である。又昨

年12月には工区最大難所と言われる青崩峠起工式も済み、いよいよ全線開通は近くに見えて来た。

平成5年国道474号線が三遠南信自動車道として独立した国道に指定され、山本から引佐町に至る延長100キロの高規格幹線道路として位置付けられ、



三遠南信自動車道の説明を受ける

工事延伸中。すでに鳳来峡IC以南は、新東名高速道路浜松いなさJCTで連結され開通している。

この道路の全線開通は、今後の南信州の社会、経済に直接関わり又、その発展に大きく寄与する。飯田市と浜松市が2時間で結ばれ、その高速サービスは計り知れ無いものがある。

奥三河、北遠州、南信地域は災害に強い道路網が構築されるわけで、孤立地域の発生も回避されると同時に、搬送時間の短縮され、命の道としての機能がアップされる。又、三遠南信地域の交流促進、連携強化による地域の活性化が大いに期待されている。豊かな経済資源や自然環境、特色の

自然・農業・手づくりのエコロジーファーム伊賀の里を視察した。モクモクファームは地域の自然、農村文化を守りながら農業振興を通じて自ら作った物を加工、販売し地域活性化につなげる事業に取り組んでいる。

養豚農家16軒から資金を集めて国産豚の消費拡大のためブランド豚を育てる。この豚肉で、手づくりのハムを作り工房で販売したのが始まりである。

当初は、売り上げゼロの日もあり、借金がかさむ時もあったが、アイディア商品を開発し知名度を上げるための努力をする。それが徐々に認められテレビ等のマスコミに取り上げられるようになってから幅広い事業の展開ができるようになる。

生産から物づくり、販売、サービス、教育に至るまで常に農業と向かい合い新しい価値の創造に挑戦している。世間に認められるま

で約10年、現在の発展までには20年の歳月がたっている。簡単に軌道にのれる事業ではないという事を実感した。村でも6次産業化の準備が始められている。行政が、かかわる事で難しい面もあると思うが、

豊丘村ならではの物や人を活用し知恵を出し、失敗を恐れず進む事が大切であると感じた。情熱を持って周囲を巻き込む中心者が成功に導く鍵になる事を学んだ。

農畜産物の6次産業化を学ぶ

総務産建委員 片桐 眞理子

ある歴史文化を有し、高いポテンシャルをもつ地域だけに地域交流が促進される事に間違いは無い。

三遠南信道、リニア新幹線の開通を見据え

官民間わずの仕掛けが必要な時であり、又、強く責任を覚えた研修であった。工事関係者の安全と、早期開通を願ひ、現場を後にした。



手づくりハムの体験工房

シリーズ 「私、がんばっています」

林 里 東垣外 竜 さん

寒さ増す年の瀬に、暮れまで忙しく施術を行っている東垣外 竜さんを訪ねてみた。

東垣外さんは、昭和45年生まれで高校を卒業するまで南市場に在住し、その後、東洋大

学法学部に進み、大学を卒業後に柔道整復師の国家資格を取得した。東京での修行を行いな

がら、いずれは生まれ育った豊丘村で仕事をしたいと考えていたこと。

平成18年10月に念願であった現在の「くましろ接骨院」を村内の林里地区の一角に開業

することができ、診療を受けにくる人からも大変に喜ばれている。また、地域のボランティアとして中体連の救護活動飯田市のデイサービスセンターで体操指導を行うなど地域のために頑張っていることが伺えた。

今後についても両親をはじめ、お世話になった方々に仕事を通じて喜ばれる事で恩返しをして行きたい。また、

少しずつ村や商工会の行事に参加して村の発展に協力して行きたいと熱く思いを抱いていました。3か月前に結婚をして新しいスタートをはじめ、夫婦で力

を合わせ常に初心を忘れず、地域社会に貢献できる様に勤めて参りたいと決意も新たにしています。



柔道整体師の東垣外さん

みんなの声



平成23年に高森町での生活から、生活の場を豊丘村に移し子育てをしてきましたが、子供も

保育所の年中になり家族の暖かい協力と理解を得て、就労支援事業所の「こぶし園」で厨房の担当として働いています。

社会的弱者への理解を

中部二代 田 真由子

なかなか仕事も覚えられず、ミスをしたり気落ちすることもありましたが、園生さん達が何時も明るく「おはよ

う！今日の献立は何？」と聞いてくれたり、給食も残さず食べてくれて「おいしかったよ！」と笑顔で話してくれるので、その度に頑張る気が湧いてきます。自分のミスを優しくカバーして、対策を考えてくれる先輩、上司、そし

て毎日元気をくれる園生さん方に、今受けている恩を返せるくらいのスタッフになりたい！と、毎日一歩ずつ頑張っています。

最近の行政や国に対して一言。それは、新しい税制などができるとき、どの様な状況の人達のことを考えて作っているのかと毎回思います。子育て世代に負

担がかかれば出生率は必ず下がると、お年寄りに負担がかかれば悲しい事件が増えると思いません。社会的に、どうしても弱者にならざるを得ない人を理解し、守れる国、村であつてほしいと思います。

◇ 編集 ・ 発行 ◇

発行／長野県豊丘村議会
編集／議会だより編集委員会
〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地
TEL 0265-35-9063 / FAX 0265-35-8355
ホームページ <http://www.vill.nagano-toyooka.lg.jp>
電子メール gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp

発行責任者：議長 平 豊 久
編集委員会：委員長 松下 千賀子
副委員長 大原 浩文
委員 酒井 康明
委員 井原 啓六
委員 唐澤

議会だよりに、ご意見・ご感想をお寄せください。